

兵庫県川西市において福祉介護・共同送迎サービス 「ゴイッショ」の実証実験を実施



ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）は、兵庫県川西市において、福祉介護・共同送迎サービス「ゴイッショ」の実証実験を2026年3月2日（月）から開始し、同日、川西市役所にて出発式を行いました。

「ゴイッショ」は社会課題解決に向けダイハツが提供しているモビリティサービスで、複数の通所介護施設における送迎業務を外部に委託し、共同運行することで業務効率化を実現し、介護人材不足の解消と高齢者の移動手段の確保を支援する仕組みです。2022年4月から全国の地方自治体向けに提供を開始し、現在は香川県三豊市、滋賀県野洲市で正式運行されています。

本実証実験は、川西市が推進する「介護人材確保プロジェクト」の一環で「AI共同送迎サービス事業」として実施するもので、従来の「ゴイッショ」の特徴である朝・夕の共同送迎の実施とは異なり、一日型デイサービスで昼時間に発生する送迎車両とドライバーの遊休時間を活用し、別の半日型デイサービスにおける昼の送迎業務を担う取組みです。一日型デイサービスにおける昼時間の遊休車両と、半日型デイサービスにおける昼送迎の負担という課題を結び付け、両者の課題解決を図るための、介護事業者同士で遊休車両を活用した共同送迎の事例としては全国初^{※1}となります。

川西市が事業主体となり、2026年3月2日（月）から2026年3月27日（金）まで実施され、運営は一日型デイサービスを提供する社会福祉法人正和会が主体となり、同法人の雇用ドライバーが送迎を行います。ダイハツは運営体制構築や運行支援など、実証実験全体の推進を支援します。市内の半日型デイサービス3法人3施設が参加し、3台の車両で昼間の送迎を行い、延べ約300人の送迎を予定しています。実証実験により、各地域の課題に即した共同送迎サービスの有効性を検証し、運営体制や事業成立性の評価を行うことで、今後のサービス正式運行へ向けた検討を進めていきます。

ダイハツは今後も「ゴイッショ」をはじめとした、地域社会に貢献できるサービスの提供を通じて、福祉介護分野における地域課題解決と持続可能なモビリティ社会の実現に貢献していきます。

※1：2026年3月時点。ダイハツ調べ。

【実証実験概要】

事業主体	兵庫県川西市
実証期間	2026年3月2日(月)～2026年3月27日(金)
運営主体	社会福祉法人正和会
ドライバー	社会福祉法人正和会の雇用ドライバー
参加施設数	市内の半日型デイサービス 3 法人 3 施設
車両台数	3 台
想定利用者数 (延べ)	約 300 人



< 「ゴイッショ」 ホームページ >

<https://www.daihatsu.co.jp/goissho/>



< 「ゴイッショ」 の問い合わせ専用窓口 >

TEL : 072-747-2193 / E-mail : goissho@dk.daihatsu.co.jp

受付時間 : 月～金曜日 9:00～12:00・13:00～17:00

(祝日、GW・夏季・年末年始休暇などの当社指定休日を除く)

以上